



**第85回 OPERA研究交流セミナー**  
**第78回 ISIT有機光エレクトロニクス研究特別室セミナー**  
**第145回 未来化学創造センターセミナー**



**日時:2013年6月13日(木) 15:00-**

**場所:九州大学 最先端有機光エレクトロニクス研究棟 3F会議室**

**「発光性有機液体を用いたニュートリノの研究」**

**東北大学ニュートリノ科学研究センター**  
**丸藤 祐仁**

ニュートリノは、現在判明している物質の最小単位・素粒子の一種で、電荷を持っていないため測定が難しい粒子です。

現在我々が推進しているカムランド実験は、小柴博士率いるカミオカンデから数えて第三世代と言われており、ニュートリノ反応によって発生する放射線のエネルギーを発光性の有機液体を用いて光に変え、光電子増倍管で検出する事でニュートリノ反応を同定する方法を用いています。

このカムランド検出器を用いたニュートリノ研究、必要とされている発光性の有機液体について、そして今後の改良について紹介します。

**主催:九州大学 最先端有機光エレクトロニクス研究センター**  
**:財団法人九州先端科学技術研究所(ISIT)**  
**共催:九州大学 未来化学創造センター**